



## 平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 8 月 9 日

上場会社名 ニチバン株式会社 上場取引所 東証一部・大証一部  
 コード番号 4218 URL <http://www.nichiban.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀田 直人  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 酒井 寛規 TEL (03) 5978 - 5601

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	9,467	1.1	203	46.9	241	37.9	102	59.8
19年3月期第1四半期	9,366	4.4	383	34.1	388	30.2	255	-
19年3月期	39,642	-	1,374	-	1,436	-	838	-

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	2.48	-	-	-
19年3月期第1四半期	6.17	-	-	-
19年3月期	20.23	-	-	-

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20年3月期第1四半期	44,218		21,215		48.0	511.68		
19年3月期第1四半期	45,577		20,726		45.5	499.86		
19年3月期	45,673		21,350		46.8	514.92		

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年3月期第1四半期	799		549		1,189		7,087	
19年3月期第1四半期	1,634		280		188		9,718	
19年3月期	1,572		1,857		249		8,021	

2. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	20,000	2.0	550	28.6	550	31.3	300	36.8		7.24
通期	41,100	3.7	1,450	5.5	1,500	4.4	870	3.7		20.98

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う  
特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は本資料の作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。上記の業績予想に関する事項は3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期（平成 19 年 4 月～6 月）におけるわが国経済は、生産の一部に弱さがみられるものの、企業収益の改善や設備投資の増加を受けて、雇用環境の改善により個人消費が持ち直す等、緩やかな回復を続けております。景気の先行きについては、企業部門の好調さが家計部門へ波及し、国内民間需要に支えられた回復が続くことが見込まれる一方、依然として原油関連製品をはじめとする素材価格が上昇を続け、予断を許さない状況が続いております。

こうした情勢の中、当グループを取り巻く環境は、流通再編を伴う価格競争の激化により、依然として厳しい状況にありますが、『開発型企業』を志向する中期経営計画【TAG2007】の最終年度を迎え、売上拡大と利益確保に努力いたしました結果、全体の売上高は 94 億 6 千 7 百万円（前年同期比 1.1%増）となりました。一方、損益面におきましては、経営全般にわたるコスト低減策を推進するとともに、製品価格の適正化をすすめておりますが、主要原材料である石化品、原紙等の値上げによる製造・仕入コストの上昇を十分に補えず、経常利益は 2 億 4 千 1 百万円（前年同期比 37.9%減）、四半期純利益は 1 億 2 百万円（59.8%減）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 1 四半期の総資産は、社債の償還及び長期借入金の借入等により、前連結会計年度に比べ 14 億 5 千 5 百万円減少し、442 億 1 千 8 百万円となりました。また、純資産は 1 億 3 千 4 百万円減少し、212 億 1 千 5 百万円となりました。この結果、自己資本比率は 48.0%となりました。

## キャッシュ・フローの状況

当第 1 四半期における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、残期末に比べ 9 億 3 千 3 百万円（11.6%）減少し、70 億 8 千 7 百万円となりました。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、7 億 9 千 9 百万円となりました。これは税金等調整前当期純利益、売上債権の増減額等によるものです。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、5 億 4 千 9 百万円となりました。これは主に有形固定資産の購入等によるものです。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、11 億 8 千 9 百万円となりました。これは主に配当金の支払、社債の償還及び長期借入金の借入等によるものです。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当グループの中間期および通期の業績予想につきましては、前期から大きく影響を受けている天然ゴム、石化製品をはじめとする主要原材料の上昇を織り込んでおり、当第 1 四半期も厳しく見込んでいた当初の計画にほぼ沿って推移しております。また、喫緊の課題として取り組んでおります製品価格の適正化も当四半期後半から一定の成果を上げつつあるため、現時点では平成 19 年 5 月 19 日付の業績予想に変更はありません。

現状では今後も更なる主要原材料の上昇が見込まれておりますが、現在取り組んでいる製品価格の適正化について、早期に具体化し、確実に実現させてまいります。また、ご好評をいただいております 10 周年を迎えた救急絆創膏「ケアリーヴ®」のキャンペーンを起点とした販売促進活動、コストダウンを中心としたあらゆる企業努力を推進し、業績回復に努めてまいります。

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

## (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

税金費用の計上基準及びその一部について、簡便的な方法を採用しております。

## (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

## 5 .(要約) 四半期連結財務諸表

## (1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 平成 19 年 3 月期 第 1 四半期末	当四半期末 平成 20 年 3 月期 第 1 四半期末	増 減		(参考) 前期末 (平成 19 年 3 月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>(資産の部)</b>					
<b>流動資産</b>					
現金及び預金	7,485	6,302	1,182		5,538
受取手形及び売掛金	12,514	13,155	641		13,707
たな卸資産	6,203	5,499	704		5,289
その他	3,230	2,368	862		4,011
流動資産合計	29,433	27,326	2,107	7.2	28,547
<b>固定資産</b>					
有形固定資産	11,415	12,060	644		12,229
無形固定資産	187	123	64		132
投資その他の資産	4,540	4,708	167		4,764
固定資産合計	16,143	16,891	748	4.6	17,126
資産合計	45,577	44,218	1,359	3.0	45,673
<b>(負債の部)</b>					
<b>流動負債</b>					
支払手形及び買掛金	6,909	7,447	538		7,589
短期借入金	60	1,010	950		-
一年内償還予定の社債	3,000	-	3,000		3,000
その他	4,381	4,793	411		5,161
流動負債合計	14,350	13,250	1,099	7.7	15,751
<b>固定負債</b>					
長期借入金	2,450	3,500	1,050		2,450
退職給付引当金	5,066	3,133	1,932		2,990
その他	2,983	3,118	134		3,130
固定負債合計	10,500	9,751	748	7.1	8,571
負債合計	24,850	23,002	1,848	7.4	24,323
<b>(純資産の部)</b>					
<b>株主資本</b>					
資本金	5,451	5,451	-	-	5,451
資本剰余金	4,186	4,186	-	-	4,186
利益剰余金	10,910	11,347	436	4.0	11,493
自己株式	3	4	0	26.0	4
株主資本合計	20,545	20,981	435	2.1	21,127
<b>評価・換算差額等</b>					
その他有価証券評価差額金	287	244	42	14.9	270
為替換算調整勘定	105	10	95	90.3	47
評価・換算差額等合計	181	234	52	29.2	223
純資産合計	20,726	21,215	488	2.4	21,350
負債純資産合計	45,577	44,218	1,359	3.0	45,673

## (2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 平成 19 年 3 月期 第 1 四半期	当四半期 平成 20 年 3 月期 第 1 四半期	増 減		(参考) 前期 (平成 19 年 3 月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	9,366	9,467	101	1.1	39,642
売上原価	6,655	6,967	312	4.7	28,688
売上総利益	2,711	2,499	211	7.8	10,953
販売費及び一般管理費	2,328	2,296	31	1.4	9,579
営業利益	383	203	179	46.9	1,374
営業外収益	36	64	27	73.7	176
営業外費用	31	26	5	16.6	114
経常利益	388	241	147	37.9	1,436
特別利益	98	27	71	72.5	105
特別損失	12	24	12	105.6	117
税金等調整前四半期(当期) 純利益	475	243	231	48.7	1,424
税金費用	219	140	78	35.7	586
四半期(当期)純利益	255	102	152	59.8	838

## (3) (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

前第 1 四半期(平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資 本合計	その他 有価証券 評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・ 換算 差額等 合計	
平成 18 年 3 月 31 日 残高	5,451	4,186	10,967	3	20,602	357	131	225	20,827
第 1 四半期の変動額									
剰余金の配当			248		248				248
四半期純利益			255		255				255
役員賞与			63		63				63
自己株式の取得									-
株主資本以外の項目 の当四半期変動額 (純額)						69	25	43	43
第 1 四半期中の変動額 合計	-	-	56	-	56	69	25	43	100
平成 18 年 6 月 30 日 残高	5,451	4,186	10,910	3	20,545	287	105	181	20,726

当第 1 四半期 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日)

(単位: 百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資 本合計	その他 有価証券 評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・ 換算 差額等 合計	
平成 19 年 3 月 31 日 残高	5,451	4,186	11,493	4	21,127	270	47	223	21,350
第 1 四半期の変動額									
剰余金の配当			248		248				248
四半期純利益			102		102				102
自己株式の取得				0	0				0
株主資本以外の項目 の当四半期変動額 (純額)						25	37	11	11
第 1 四半期中の変動額 合計	-	-	145	0	146	25	37	11	134
平成 19 年 6 月 30 日 残高	5,451	4,186	11,347	4	20,981	244	10	234	21,215

前期 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資 本合計	その他 有価証券 評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・ 換算 差額等 合計	
平成 18 年 3 月 31 日 残高	5,451	4,186	10,967	3	20,602	357	131	225	20,827
連結会計年度中の変動 額									
剰余金の配当			248		248				248
当期純利益			838		838				838
役員賞与			63		63				63
自己株式の取得				0	0				0
株主資本以外の項目 の連結会計年度中 の変動額 (純額)						86	84	2	2
連結会計年度中の変動 額合計	-	-	526	0	526	86	84	2	523
平成 19 年 3 月 31 日 残高	5,451	4,186	11,493	4	21,127	270	47	223	21,350

## (4) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	前年同四半期 平成 19 年 3 月期 第 1 四半期	当四半期 平成 20 年 3 月期 第 1 四半期	(参考) 前期 (平成 19 年 3 月期)
	金 額	金 額	金 額
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税金等調整前四半期(当期)純利益	475	243	1,424
減価償却費	341	391	1,499
退職給付引当期の増減額(減少は )	86	143	1,988
売上債権の増減額(増加は )	901	551	291
たな卸資産の増減額(増加は )	409	210	504
仕入債務の増減額(減少は )	102	142	578
役員賞与の支払額	32	-	63
その他	609	250	68
小 計	1,870	1,227	1,731
法人税等の支払額	211	404	97
その他	24	24	61
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,634	799	1,572
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
定期預金の預入による支出	166	217	217
定期預金の払戻による収入	166	217	166
有形固定資産の取得による支出	382	587	1,323
その他	103	37	483
投資活動によるキャッシュ・フロー	280	549	1,857
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
短期借入金の増減額(減少は )	60	60	-
長期借入れによる収入	-	2,000	-
社債償還による支出	-	3,000	-
配当金の支払額	248	248	248
その他	-	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	188	1,189	249
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	2	5	5
<b>現金及び現金同等物の増減額(減少 )</b>	1,168	933	528
<b>現金及び現金同等物の期首残高</b>	8,550	8,021	8,550
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	9,718	7,087	8,021

## (5) セグメント情報

## 〔事業の種類別セグメント情報〕

前年同四半期（平成 19 年 3 月期第 1 四半期）

（単位：百万円）

	メディカル事業部	テープ事業部	計	消去又は は全社	連結
売上高	2,801	6,592	9,393	27	9,366
営業費用	2,195	6,076	8,272	710	8,983
営業利益	605	515	1,121	738	383

（注）事業区分は、当社の事業戦略単位である事業部（組織）を基本として区分しております。

当四半期（平成 20 年 3 月期第 1 四半期）

（単位：百万円）

	メディカル事業部	テープ事業部	計	消去又は は全社	連結
売上高	2,689	6,806	9,496	28	9,467
営業費用	2,188	6,356	8,544	719	9,264
営業利益	501	450	952	748	203

（注）事業区分は、当社の事業戦略単位である事業部（組織）を基本として区分しております。

（参考）前期（平成 19 年 3 月期）

（単位：百万円）

	メディカル事業部	テープ事業部	計	消去又は は全社	連結
売上高	10,998	28,745	39,744	101	39,642
営業費用	8,865	26,545	35,411	2,856	38,268
営業利益	2,132	2,200	4,333	2,958	1,374

（注）事業区分は、当社の事業戦略単位である事業部（組織）を基本として区分しております。

## 〔所在地別セグメント情報〕

当四半期、前年同四半期及び前期については、在外支店及び在外連結子会社がないため、該当事項はありません。

## 〔海外売上高〕

当四半期、前年同四半期及び前期については、海外売上高は連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。